

通常の学級における包摂力のある好事例

【キーワード】	安心して学べる環境づくり、肯定的なかかわり
【学校、学年】	小学校
	【 2 】年
【状況、様子 等】	<p>○前年度の児童Gの様子等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に思ったことを自由に発言したり、暴言と取られるような発言をしたりする様子が多く見られた。 ・長い時間座っておくことが難しく、課題が終わったり、教師の話が長くなったりする時には教室の後方で自由な姿勢で過ごしていた。 ・教師が本児の状況を「授業を妨害している」と否定的に捉えたことで、学級の雰囲気は乱れていた。
【対応・工夫】 支援、 合理的配慮、 基礎的環境整備、 学級経営、 支援体制 等	<ul style="list-style-type: none"> ・本児に対して否定的なことを言わず、肯定的なかかわりをした。(教師の姿勢) ・授業中、本児の「自分はこうしたい」という発言に対して、納得できるようなやりとりをした。(合理的配慮) ・学習の見通しを絵や図式ではっきりと表して確認した。(合理的配慮) ・行動を待ち、意識が教師に向くのを確認した後に、指示や号令などを出した。(合理的配慮)
【結果、変容 等】	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生になって、落ち着く様子が見られるようになり、授業中の離席もあまりない状況になった。 ・教師との信頼関係が構築され、落ち着いた表情や言葉でやり取りができるようになった。 ・これまで家庭では、学校で怒られた話をするが多かったが、「学校が楽しい」と話すようになった。 ・学級全体の雰囲気が落ち着き、児童たちの主体的な姿が見られるようになった。